



第2回柞の森音楽祭大盛会裡に終了

第2回柞の森音楽祭は3月22日(日) 鎌倉芸術館大ホールで開催されました。第1回音楽祭の経験を踏まえ、内容が充実し運営もスムーズに進み、無事に成功を収めることが出来ました。当日、折悪しく正午過ぎに、かなりの雨が降って参りました。それでも主催者の危惧をよそに来場者が相次ぎ、総数 1,300 人余が来場されました。13 時開場、開場と同時に手広お囃子保存会の軽快な祭囃子が雰囲気を作り 13 時 30 分開演。熱気溢れる 3 時間余の見応えのあるステージが続きました。聴衆、ステージ一体となった感激のるつぼの音楽祭。終了後、帰宅の途につく来場者も見送るスタッフ一同も、みんなニコニコ「有難う、有難う」で次の音楽祭を約してお別れをつけました。



~第2回柞の森音楽祭打ち上げ&交流会~

4月19日(日)手広中学校ふれあい広場で「第2回柞の森音楽祭打ち上げ&交流会」が開かれました。70人を越す参加者があり、齊藤校長先生や都築事務局長をはじめスタッフの皆さんが朝早くから準備された栄養タップリのトン汁を頂き、日高さんが中心となってゲームをして、楽しいひと時を過ごしました。

~第2回柞の森音楽祭を終えて、音楽祭の願いの実現を~

今回の音楽祭は、すべての行事を盛会の中に終える事が出来ました。音楽祭は次の第3回柞の森音楽祭へとバトンタッチされ、その後も継続されていくことと信じます。この音楽祭によって結ばれた人々の絆をもとに若者を愛し若者を育てようとする音楽祭の願いに心を合わせて参りましょう。

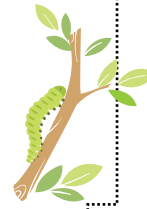


柞の森音楽祭 (抜粋)

おおのまこと作詞

生きもの育む柞の森は
 人の心を明るく癒す
 花の笑顔の溢れる町で
 若者愛そう未来をかけて
 声掛け合おう未来の子らと

誰が名付けた柞の森と
 名さえ床しい音楽祭
 示そう地域の誇れる力
 我らの願いを称えよう
 耀く未来を信じよう



* 各部の当日の活動状況 *

第1部 手広中学校吹奏楽部

ステージドリル(マーチングドリーム)から始まり、ルーマニア民族舞曲、サンチェスの子供達、木星のファンタジー-2001 等、多彩な曲が見事に演奏されました。この演奏は、吹奏楽部の第6回定期演奏会でもありました。



第2部 ダンス・コーラス・コラボステージ

フラダンス 竹内綾子さんのソロに始まり「マハナ・フラ・ハラウ」「カ・ホヌ・イカイカ」が続きました。「カ・ホヌ・イカイカ」は男性(父親と息子)によるカネフラ(男性のフラ)。カネフラは初見の人が多く「カネフラもイカスネ」の囁きが聞かれました。

日舞 「綾の会」石井富美子さんが踊られ、鎌倉三曲協会(広木圭子、大山美代子、船田京子)の皆さんが見事な組み合わせ演奏をされました。

さくら さくら(コラボレーション) 指揮:堀部隆二 編曲:柳川和樹 演出北條俊彦 声楽独唱:雨谷善之 其他多くの方々。雨谷善之氏は藤原歌劇団所属バリトン歌手、間近に聞く事の出来るのも地域のご縁「さすが・・・」の声が聞かれました。

コーラス 指揮 堀部隆二 伴奏 西川麻里子

演奏曲は戦前小学唱歌として歌われ高年者には馴染み深い6曲、萩原英彦の編曲で素的に蘇り、聞かせどころの多い名曲。中核となったのは毎週2回の練習を重ねた大人30名余のコーラスでしたが、この発表の一大特徴は幼稚園児とそのお母様、小学生併せて100名余とのコラボレーション。子どもとお母様のユニゾン(斉唱)が加わって会場一杯の大喝采を浴びることが出来ました。

第3部 大編成 柞の森吹奏楽団

堀部先生のもと「・・・音楽を通して世代を超えた人間同士の心のつながりを育み、大人たちが子どもたちのすこやかな成長を見守る・・・」ことを終局の目的としてこの日のために地域の音楽愛好家により編成された楽団です。曲目は「ジャパニーズグライフティXII」「オペラ座の怪人」「里の森(全員)」。



発行日:2009年5月7日
 発行:手広中学校・柞の森音楽祭
 広報担当:関口、岡崎、後藤
 問い合わせ先(関口)32-6916

